

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成17年5月26日(2005.5.26)

【公開番号】特開2004-79448(P2004-79448A)
 【公開日】平成16年3月11日(2004.3.11)
 【年通号数】公開・登録公報2004-010
 【出願番号】特願2002-241362(P2002-241362)
 【国際特許分類第7版】

H 0 5 B 6/12

【 F I 】

H 0 5 B 6/12 3 0 5

H 0 5 B 6/12 3 1 7

H 0 5 B 6/12 3 2 3

【手続補正書】

【提出日】平成16年7月22日(2004.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

上部が開口され内部に電磁誘導コイル又は電気抵抗コイルからなる複数の発熱体や該発熱体の出力を制御する制御部等が収納され、前記開口の周囲にフランジ部が設けられた本体ケースと、非磁性体からなるトッププレート及び該トッププレートの周囲を保持する枠体によって形成された天板組立体とを有し、該天板組立体により前記本体ケースの開口を覆うように形成した加熱調理器を流し台に組み込み、この組み込み状態において前記天板組立体を前記本体ケースの上面に着脱自在に設置したことを特徴とする加熱調理器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

前記天板組立体を、前記本体ケースのフランジ部の上面及び周面を覆うように形成したことを特徴とする請求項1又は2記載の加熱調理器。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

(1)本発明に係る加熱調理器は、上部が開口され内部に電磁誘導コイル又は電気抵抗コイルからなる複数の発熱体や該発熱体の出力を制御する制御部等が収納され、前記開口の周囲にフランジ部が設けられた本体ケースと、非磁性体からなるトッププレート及び該トッププレートの周囲を保持する枠体によって形成された天板組立体とを有し、該天板組立体により前記本体ケースの開口を覆うように形成した加熱調理器を流し台に組み込み、この組み込み状態において前記天板組立体を前記本体ケースの上面に着脱自在に設置したもの

である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(3) 上記(1)又は(2)の天板組立体を、前記本体ケースのフランジ部の上面及び周面を覆うように形成した。

(4) 上記(1)～(3)のいずれかの電気部品及びその配線材料をすべて本体ケース内に収容した。

(5) 上記(1)～(4)のいずれかの天板組立体に、本体ケースに形成した吸気案内通路に嵌合する吸気部を設けた。